

市報

と帯乃寺古

(本誌発行/十津町市役所(電話07-3111)毎月10日/昭和32年6月5日第3種郵便物認可(1部6円))



寒中門限命

2/10
February
□203号□

ことしもやってきた白鳥

昨年について浅川原貯水池に白鳥の親子がのどかに泳ぎを楽しんでいます。ことしは昨年より2羽仲間を加え7羽となり、通行人の目を楽しませています。白鳥は、ほした茶がらやシイナなどが大好物です。毎年白鳥がやってくるようえさをあげていますが、えさが不足がち。お持ちの方は吉田公民館(☎2-2874番)までご連絡ください。



申告納税相談風景(十日町税務署)



◇昭和四十八年分の所

い人 申告をしなくてもよい
 市、県民税は前年の所得に対 して課税されます。申告書の用紙と説明書は三月のはじめに市政事務嘱託員を通じて配布する予定です。お間違いないよう記載し申告期限までに市税務課または、嘱託員に提出してください。くわしいことは税務課(☎七三一一一)へお問い合わせください。

市、県民税の申告は三月十五日までに
 税金は道路、学校、保育所などの公共施設や私たちの健康や生活を守る社会保険など、国や地方公共団体が行なう活動のための大切な財源となつていきます。税の申告は出生、死亡、婚姻の届出と同じく国民の大切な手続のひとつです。正しい申告をお願いします。

税金の申告時期になりました

得税について確定申告をする方
 ◇昭和四十九年一月一日現在、給与の支払いを受けている方で昭和四十八年中給与所得以外に所得のなかった方。
 市民税の各種控除改正見込み税負担を軽減するため各種控除額が次のとおり改正される予定です。

項目	昭和四十八年度	昭和四十九年度
基礎控除	16	16
配偶者控除	16	16
扶養控除	16	16
老人扶養控除	16	16
一人目の扶養控除	16	16
二人目の扶養控除	16	16
障害者控除	16	16
特別障害者控除	16	16
老年者控除	16	16
寡妻寡夫控除	16	16
勤労学生控除	16	16
障害者の非課税所得額	16	16
白色申告者控除	16	16
合計	147	147

所得税の確定申告と納税は三月十五日まで

所得税の申告と納税は二月十六日から三月十五日までです。申告書を書くときは「手引き」など参考としてお間違いないよう記載してください。また申告相談や税金の還付を受ける方はお早めにおでかけください。くわしいことは十日町税務署に相談してください。

財政のおしらせ

(告示第一号)
 地方自治法第二百四十三条の三の規定に基づく「十日町市財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めるところにより昭和四十八年十二月三十一日現在の本市の財政事情を公表します。
 昭和四十九年二月一日
 十日町市長 春日由三

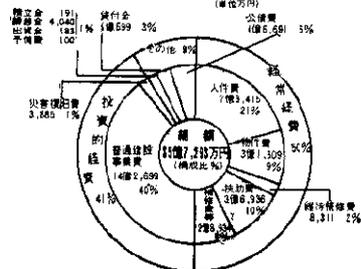
市税の内訳

税目	税額	構成比	市民1人当り	1世帯当り
市町村民税	46,593	50%	9,253	41,160
固定資産税	29,253	32%	5,809	25,842
軽自動車税	1,365	2%	271	1,206
市町村たばこ消費税	7,683	8%	1,526	12,172
電気ガス税	4,520	5%	898	3,993
木材引取税	26	-	5	23
都市計画税	3,270	3%	649	2,888
計	92,710	100	18,411	81,859

市債の状況



歳出性質別分析表



昭和48年度一般会計予算(48.12.31現在)

項目	金額	構成比
歳入	35億7,293万円	
市税	92,709	27%
地方交付税	85,584	24%
国庫支出金	49,384	14%
市債	65,650	18%
繰越金	15,936	4%
歳出	35億7,293万円	
教育費	85,752	24%
民生費	38,543	16%
総務費	34,497	10%
衛生費	20,347	6%
農林水産費	23,268	6%
公債費	16,692	5%
債上費	3,710	4%
その他	24,294	7%
その他	29,653	6%

一般会計執行状況

執行率	金額
収入率 71%	四億七千九百五十万円
支出率 66%	三億七千七百五十万円
当初予算	三億七千七百五十万円
十二月末予算	三億七千七百九十万円
収入済額	四億七千九百五十万円
支出済額	五億二千九百六十万円

特別会計予算状況

会計名	予算額
国民健康保険	51,071万円
診療所	4,095
簡易水道	6,118
計	61,284

市有財産の状況

土地	14,756,017㎡
建物	104,532㎡
基金、公社債	6,322万円

盛大だった雪まつり

三点方式が成功

第二十五回雪まつりは、二月九、十の両日盛大に催されました。

ことしは、第二十五回開催と市制二十周年という記念すべき年であり、雪上カーニバル、雪の芸術作品、学童作品、ふるさと広場、雪まつりランドなどのほかたくさんの方々が協賛行事が行なわれ、文字通り市民ぐるみの雪まつりとして盛りあがりしました。

特に、観客を華やかな幻想の世界にさまよわせた「雪上カーニバル」やふるさと情緒いっぱい「ふるさと広場」、ちびっ子や家族ぐるみの人達に喜ばれた「雪まつりランド」など好評でした。

ことしの雪まつりは、雪上カーニバルとふるさと広場、テニスコロ市と十高グラウンド、雪まつりランドを結ぶ三点方式を採用。さらに雪の芸術作品も近年にない盛りあがりから、一般作品(特別作品含む)三十七点、学童作品十三点もつくられ、雪像製作も近郊地域の人達が参加しました。

プロパンの節約に

ご協力を

LPGガスは全体的に不足しています。

家庭用LPGガスの消費節約に ついてつぎのことに協力ください。

■比較的气温の高い日中はストーブの使用を控えるために、暖房は、入浴回数を減らしたり、風呂の温度が冷めぬうちに一度に入るなど心がけましょう。

昭和49年度市奨学 生募集

市教育委員会では、昭和四十九年度市奨学金貸与希望者を次のとおり募集します。

応募資格者/市内に三年以上居住している世帯の子弟で、学業成績が優秀かつ経済的理由により、学資の支弁が困難なものである。

なお、貸与の対象は直等学校及び高等専門学校(貸与月額三千円)短大及び大学(貸与月額六千円)に在学中または進学希望者です。ご希望の方は、四十九年二月末日までに市教育委員会、市内各中学校、高等学校にお申し込みください。

老人家庭奉仕員を募集

昭和四十九年四月一日採用の老人家庭奉仕員を募集します。募集人員/一名

手話講習会のお知らせ

日時/三月十日(日)午前十時
午後三時

場所/十日町総合庁舎
(要町西二)第一会議室

携帯品/筆記用具
(中魚沼社会福祉事務所)

募集要領/老人福祉に関し理解と熱意を有する者で、心身ともに健全なおおむね三十歳以上五十歳までの女子職務/非常勤職員扱いであるが一般常勤職員と同様の勤務時間を家庭奉仕活動等する。

待遇/月額四万五千元
希望手続等/希望者は昭和四十九年二月二十五日までに市役所社会福祉事務所にて老人家庭奉仕員希望申込書(用紙は市社会福祉事務所へ)、履歴書、身体検査書を持参の上お申し込みください。

その他/希望者多数のときは別に定める日時に選考を行ないます。なお、くわしいことは市社会福祉事務所へお問い合わせください。

物価抑制特別貯蓄運動にご協力

総需要抑制の一環として、四十九年一月から物価抑制特別貯蓄運動を展開しています。家計消費の抑制と貯蓄の推進が物価上昇に対し安定効果を発揮します。ご協力ください。(貯蓄増強中央委員会)

水道事業のお知らせ

昭和47年度の決算状況をお知らせします。昭和47年度における建設改良工事及び保存工事は、川治山本線配水管増補改良事業を始め、保存改良工事として第一、第四水源地整地、その他消火栓新設工事を施行しました。営業面におきましては、給水人口1,762人の増で、29,795人となり普及率は93.1%と増加しております。有収水量は前年に引続き漏水の早期発見に努力し、69.2%と前年度比1.1%増となりました。

昭和47年度給水業務量の状況

区分	昭和47年度	昭和46年度	増(△)減	比率	
給水戸数(戸)	6,881	6,643	238	103.6	
給水人口(人)	29,795	28,033	1,762	106.3	
配水量	総量(m ³)	3,680,320	3,667,359	12,961	100.4
	一日最大(m ³)	15,258	14,409	849	105.9
	一日平均(m ³)	10,081	10,048	32	100.3
有収水量(m ³)	2,545,202	2,498,133	47,069	101.9	
有収率(%)	69.2	68.1	1.1	101.6	

昭和47年度決算状況

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	66,540,480	営業収益	84,549,320
営業外費用	22,270,248	営業外収益	5,724,128
小計	88,810,728		
当年度純利益	1,452,720		
合計	90,273,448	合計	90,273,448

昭和47年度水道事業貸借対照表

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	448,638,533	固定負債	7,578,598
流動資産	25,944,215	流動負債	7,866,011
繰延勘定	427,760	資本金	439,171,750
		剰余金	20,394,149
合計	475,010,508	合計	475,010,508

昭和47年度水道事業剰余金処分計算書

1. 当年度未処分利益剰余金	1,917,152
2. 利益剰余金処分額	
(1) 減債積立金	1,000,000
(2) 建設改良積立金	500,000
3. 翌年度繰越利益剰余金	417,152

昭和48年度上期損益計算書

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	33,120,825	営業収益	56,275,110
営業外費用	11,088,044	営業外収益	2,557,893
小計	44,208,869		
純利益	14,624,134		
合計	58,833,003	合計	58,833,003

昭和48年度上期貸借対照表

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	453,369,864	固定負債	7,578,598
流動資産	28,039,763	流動負債	5,406,683
繰延勘定	1,432,380	資本金	433,302,333
		剰余金	21,930,259
		純利益	14,624,134
合計	482,842,007	合計	482,842,007

一日一円で...あなたを守る

新潟県交通災害共済にご加入を

昭和四十八年度の共済期間は三月末日で終了しますので、四月一日より開始の昭和四十九年度の加入申し込みを三月一日から受け付けます。

交通事故は、どんなに注意していても「いつ」「どこで」あうかわかりません。昭和四十八年度に加入されている方ももちろん、未加入の方もご家族そろって加入されますようおすすめます。

加入方法は、後日、嘱託員が全世界に配布する会費払込書(加入申込書)によります。

なお、同時に配布するチラシ、回章等には、くわしいことが記載してありますのでご覧ください。

昭和48年の交通事故は減少

昭和四十八年の本市での交通事故は、件数で百八十二件と四十七年の二百十四件に比べて約十五%減少。死者五人は、四十七年の七人に比べて約二十九%減少、また負傷者では、二百十人と四十七年の二百五十八人に比べて約十九%減少でした。

これは、交通事故が本市の社会問題となつてから初めてのことであり、市交通安全協会、市交通指導員等の献身的な努力と

市民各位のご協力が実を結んだものといえるでしょう。

今後、雪のため交通事情の悪化が予想されますが、運転者も歩行者も交通ルールを守り、交通事故防止に努力しましょう。

内部障害者の入所生を募集

新潟県後援保護指導所では、昭和四十九年四月一日入所の内部障害者入所生を募集しています。これは、内部障害者の健康管理を行ないながら技能を身につけ、社会復帰を促進することを目的としています。

対象/呼吸器系・心臓・腎臓等の障害者(精神障害を除く)

資格/十五歳以上の者で、医師が訓練指導を行なっても差し支えないと認められたもの。

簡易保険新加入運動を展開

郵政省は、関係機関等を通じて学校や住宅の建設など明るく、らしづくりに役立っている簡易保険の新加入運動を四十九年一月から展開しています。

寄付ありがとう

歳末たすけあい寄付金

- ▽鶴田倉庫従業員一同...一万円
- ▽川治小学校児童会...三千元
- ▽五百十町▽保坂リイ(新座四)...一万円
- ▽十町▽十日町地区同盟...五万五千元
- 社会福祉事業寄付金
- ▽三谷尚(土市四)...二万円
- ▽鶴物峠としび会(山本)...

用途地域の一部変更指定

市は用途地域の一部変更指定を去る十二月二十八日決定(告示)しました。

今後用途地域内に建物を建てる場合、制限事項もありますので事前に建築士または十日町土木事務所、市役所建設課にご相談ください。

お忘れなく
今月は国民健康保険料の納期です。

2月の休日救急医

11日 大島 隆 院長(山原町) 電話2132557番

17日 至誠堂 院長(西浦東) 電話213276番

24日 十日町病院(十日町) 電話213161番



財政のありさま

(告示第一号)

地方自治法第二百四十三条の三の規定に基づき、「十日町地域広域事務組合財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めるところにより昭和四十七年度決算状況及び昭和四十八年十二月三十一日現在の本組合の財政事情を公表します。

昭和四十九年二月一日 十日町地域広域事務組合
管理者 十日町市長 春日由三

昭和48年度会計別予算執行状況

(昭和48年12月31日現在) 単位:万円

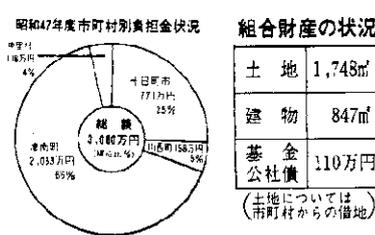
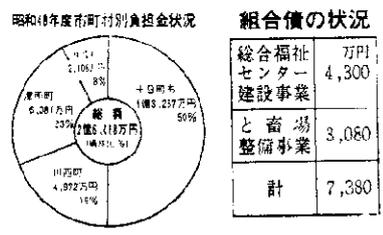
会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	31,526	19,260	61%	20,673	66%
と畜場事業特別会計	811	772	95%	573	71%
総合福祉センター特別会計	4,023	3,835	95%	3,660	91%
計	36,360	23,867	66%	24,906	68%

(不足分は一時借入)

昭和47年度歳入歳出決算状況

単位:万円

区分	予算額	収入済額	支出済額	差引額
一般会計	44	44	27	17
総合福祉センター	6,658	6,662	6,344	318
と畜場事業	3,887	3,836	3,299	537
特別会計				
小計	10,545	10,498	9,643	855
合計	10,589	10,542	9,670	872



組合債の状況

総合福祉センター事業	4,300万円
と畜場事業	3,080万円
整備事業	
計	7,380万円

組合財産の状況

土地	1,748㎡
建物	847㎡
基金	110万円
公社債	

(土地については市町村からの借地)

表紙のこぼれ

「イヤ」という気持が案中の武道練習場いっばいにひびきわたる。これは、「剣友会」の集まりだ。五十名の青少年剣士たちは、猛げいで寒さをあつとばして、この剣士たちの指導にあたっては、開口文二郎(諏訪町)さんは、剣道をとおして「礼儀正しく、明るく元気な青少年」を育成したいと語ってくれました。